

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
1	序論 1計画策定に当たって	<p>「基本構想と基本計画を一体的に示し、戦略的に推進」するという意味について、その必要性を簡単に説明追記していただくことを要望する。</p> <p>統いて、「基本構想と基本計画を一体的に」示し、「戦略的推進」を提言するのであれば、目次も次のように変更するべきではないか。</p> <p>第2編 基本構想と基本計画及び戦略的推進</p> <ul style="list-style-type: none"> A 基本構想 1から6(詳細略) B 基本計画 基本政策Ⅰから基本政策Ⅲ(詳細略) C 基本構想と基本計画の戦略的推進 <p>第3編 最重要プロジェクト</p>	まちづくり推進部	<p>「本市では、平成23年8月の地方自治法改正により、同法第2条第4項の規定に基づく市町村の基本構想策定義務の廃止後にあっても、第二次総合計画において、基本構想を本市の行政運営の長期的なビジョンとして、基本計画とともに設定してきたところです。こうしたことを踏まえ、今後においても、引き続き基本構想と基本計画を示し、戦略的に推進していくことが、本市のまちづくりの推進には必要不可欠であると考えられることから、令和8年度以降、新たな中長期的な展望のもとを目指すべきまちの将来像を描き、その実現に向けた目標を明確にするとともに、令和8年度からの10年間に本市が取り組むべき重要政策をまとめた「第三次登米市総合計画」を策定します。」に修正いたします。</p> <p>なお、基本構想と基本計画の戦略的推進という章はありませんので、目次は現行のままといたします。</p>
2	序論 2登米市の概況 3計画策定の背景 基本構想 3将来人口 4土地利用	第三次登米市総合計画(案)においては、第1編序論 2. 登米市の概況、3. 計画策定の背景、及び第2編、3. 将来人口、4. 土地利用の記述として「藤沢市 新総合計画」のような「現状を直視」する視点で、登米市の現状を「市民の力を信頼」して、「危機があるけど夢がある、厳しい現実だが将来は可能性に満ちている」というような説明方針として、登米市をめぐる情勢やデータ等を解説していただきたい。藤沢市の新総合計画「基本構想 第3章 III-1.「藤沢づくり」の基本条件の解説・記述を参考にしていただきたい。	まちづくり推進部	<p>ご意見にありました「藤沢市 新総合計画」を拝見したところ、市独自の仕組みと取組で進める市全体のまちづくりを表すことばを「藤沢づくり」と表現し、「私たちの政府宣言」など、特徴的な計画内容であるものと認識しております。</p> <p>本市としましては第三次総合計画の策定に当たり、「市民にわかりやすく、まちづくりの方向性が明確な計画」であることを視点の一つとし、市民の視点に立った計画づくりに努め、計画全体を通じ、簡潔で要点を押さえた表現と見やすいレイアウトといたしました。</p> <p>また、第三次総合計画の特徴的な部分として「第2編 基本構想」の「5. 政策の大綱」において、まちづくりのキーワードとして「やすらぐまち」「にぎわうまち」「つながるまち」を掲げ計画の基本政策を定め、それぞれが独立した位置付けではなく、3つの柱が相互に関連しながら、横断的に施策を展開し、穏やかなやすらぎと活力あるにぎわいを創出し、将来につながる持続可能なまちづくりの取組を推進することにより、将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現を目指すとしております。</p> <p>総合計画は、本市の目指すまちづくりの方向性を共有し、同じ方向を向いて協働のまちづくりを進めていくための道標としての役割を担うものであることから、本市としては簡潔な内容で要点を伝えることに重点を置くこととし、第1編及び第2編の一般的な記述は現行のままといたします。</p> <p>なお、「藤沢市 新総合計画」の内容については、今後の計画づくりの参考とさせていただきます。</p>
3	序論 2登米市の概況	「南部は石巻市及び遠田郡に、東部は気仙沼市及び本吉郡に接し」とあるが、郡での表記に違和感がある。特に本吉郡は一町なので、南三陸町とした方がわかりやすい。	まちづくり推進部	ご意見を参考として、隣接する自治体名を市町に統一することとし、「北部は岩手県一関市に、西部は栗原市及び大崎市に、南部は石巻市及び涌谷町に、東部は気仙沼市及び南三陸町に接し」に修正いたします。
4	序論 2登米市の概況	<p>7ページ(2)人口と世帯数の「人口・世帯数の推移」グラフだが、統計比較を目的とするグラフや図表を作成する場合には、左側に最初に配置するデータは、比較基準となる項目のデータとして統一するべき。今回の場合、登米市の総合計画を作成するので、登米市合併年を基準(値)にしなければならないはずである。次ページの「産業別就業者数の推移」グラフについても同様である。</p> <p>さらにグラフ下段の年代区分は、元号表記ではなく西暦表記とすべき。</p>	まちづくり推進部	<p>人口・世帯数の推移及び産業別就業者数の推移のグラフについては、長期的な視点からの比較を行うとともに、本市と同様に合併により誕生した近隣自治体も参考とし、平成2年からの30年間の表記といたします。</p> <p>また、本市で策定している他の計画等においても和暦を使用しており、整合を図るため、本計画の年表記は、SDGsやカーボンニュートラルなどの国際的に取り決められたものを除き和暦表記とすることから、グラフの年表記についても和暦表記といたします。</p>
5	序論 2登米市の概況	「三陸沿岸道路については、インターチェンジが市内に2箇所あり、さらにパーキングエリア接続型インターチェンジが整備されています。」とあるが、古い情報に見受けられる。「インターチェンジが市内に3箇所あり、そのうち1箇所はパーキングエリアが接続しています。」とした方が誤解がないと思う。	まちづくり推進部	ご意見を参考として、「インターチェンジが市内に3カ所あり、そのうち1カ所にはパーキングエリアが併設されています。」に修正いたします。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
6	序論 3計画策定の背景	<p>増田寛也氏が副会長となっている「人口戦略会議」は、令和6年に「消滅可能性744自治体」名を公表したが、その中に登米市が入っていることもご承知と思う。</p> <p>上記レポートの中で、令和32(2050)年頃から人口が半減するとされる登米市は、若年女性人口減少が進み、「(出生率低下)自然減対策が必要。(若年人口流出)社会減対策が極めて必要」という最悪ランクにあると評価されている。</p> <p>上記の情報は、インターネット上でも公開されており、本計画でも具体的に触れておくべきと考える。</p>	まちづくり推進部	<p>人口戦略会議では、移動仮定の若年女性人口の減少率が2020年から2050年までの間に50%以上となる自治体を消滅可能性自治体として定義しております。</p> <p>若年女性人口を維持する取組は重要であると認識しておりますが、令和6年の合計特殊出生率の全国平均が1.15となり、日本全国で人口減少が進む中で、若年女性人口の減少率のみを用いて消滅可能性自治体という誤解を招く表現を総合計画で使用することは適切ではないと考えることから、人口戦略会議に関する記述は行いません。</p>
7	序論 3計画策定の背景	<p>第三次登米市総合計画では、人口減少問題が登米市にとってはいかに深刻な問題であるのか、どのような課題があり、何を優先しなければならないのか明示しなければならないはずである。人口減少問題について入れるべき視点は、例えば、登米市は、若年女性人口減少率が高く、出生数も年々低くなっていること、登米市が消滅可能性自治体に該当(増田氏調査結果)すること、年少人口の急激な減少に伴う生産年齢人口(15歳~64歳)の減少による市財政縮小問題が発生するであろうことを、表記すべき。</p> <p>また、人口減少により、市債発行において現役世代と将来世代の平等負担原則が崩れる可能性についても触れるべき。</p> <p>「高齢者の人口割合が4割を超えるという予測」は、年少人口と生産年齢人口が急激に減少することにより、このような予測になると説明したうえで「高齢者4割越え」を論じることを要する。</p> <p>なお、上記の説明の中では、いずれについても極力具体的な数値を入れることは当然のことである。</p> <p>さらに、財政縮小問題がすぐそこに見え始めている今だからこそ、歳出の優先順位を真っ先に議論するときであることもいくつかの課題を例示する中で提示しなければならないと考える。</p> <p>本市を取り巻く諸情勢、人口減少についての記述の改定をお願いしたい。</p>	まちづくり推進部	「3.計画策定の背景 (1)登米市を取り巻く情勢」の「◆人口減少、少子高齢化のさらなる進展」の記述内容について、ご意見を参考に一部修正いたします。
8	序論 3計画策定の背景	「◆人口減少、少子高齢化のさらなる進展」における、登米市の人口評価に当たっては、合併年・平成17(2005)年を基準として人口、出生数、3区分年齢ごとの減少推移と予測を数値化して明示願う。	まちづくり推進部	「3計画策定の背景 (1)登米市を取り巻く情勢」の「◆人口減少、少子高齢化のさらなる進展」の記述内容について、ご意見を参考に一部修正いたします。
9	基本構想 4土地利用	分析に対する対応策が表面的に聞こえがいいようなスローガンしか述べていない。エリアを分析して、そのエリアごとにどのような対策をするのかがなく、どこかの地域で当てはまれば目標達成、あるいは「やった」という実績を宣言できるようになっている。現状を考えると、「自然環境保全エリア」では、住人を無人化させて国に土地を返還する方向を取っているので、とても住人には知らせられないということだろうか。	まちづくり推進部 建設部	基本構想の「4 土地利用」については、県の都市計画区域マスターplanを勘案して各エリアを設定しており、エリアごとの方向性を定めるものとなっております。
10	基本計画 全般	基本理念に基づく将来像を達成するための様々な施策の取組計画があり、基本計画の個別政策には代表的な指標が掲載してあるが、主な施策ごとに達成すべき目標値(中間目標)が掲載されておらず、施策と指標の紐づけが弱いと感じる。更に主な個別計画等があるので施策ごとに掘り下げた詳細計画にも上位計画目標に紐づいた目標値の設定があるべきと考える。それによって、毎年度、5年後、10年後に施策の有効性の評価を行ったときに振り返りが可能な計画になっていてほしい。施策の取組を行つただけで目標達成の評価にならない制度であってほしい。	まちづくり推進部	<p>計画の構成として、「主な施策」は基本政策を実現するため、目標達成や課題解決に向けた具体的な取組を記載しております。また、取組の成果を定量的に示す指標として「代表的な指標」に主なものを記載しております。さらに、関連する個別計画は「主な個別計画等」に記載しております。</p> <p>総合計画では、まちづくりの大きな方向性を示し、具体的な取組や目標値等は、上位計画である総合計画に基づき各個別計画において設定しております。</p> <p>ご意見いただきましたように、施策の有効性を捉えた評価となるよう、毎年度の成果検証により施策の進ちょく度合いをしっかりと把握し、課題や効果を明らかにすることで取組の改善につなげられる評価の実施に努め、目標達成に向け取り組んでまいります。</p>
11	個別政策 I -1-1 防災・減災対策の推進 個別政策III-1-2 学校教育の充実	佐沼小学校を災害時に使える教室を造ってほしい。先日カムチャツカ地震の時、石巻の学校は人々が避難しているところをテレビで大きく放送していた。	総務部 教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
12	個別政策 I -1-2 防犯・交通安全対策の推進	「地域見守り活動の実施や交通安全協会など関係機関等と連携した街頭指導等を行い、交通事故の防止や子どもの安全を確保します。」について。交通安全母の会で交通安全運動期間中の見守りの活動をしたことがあるが、当地区では小学生はバス登校のため、見守り活動はほぼ意味をなさないと感じた。従来からある活動をそのまま続けるのではなく、時代に即して活動を見直してほしい。また、交通安全期間中に立つ幟も、効果はあるのか。高齢者へのサポート購入補助や運転免許自主返納援助、公共交通充実など、実効性のあることに予算を回した方がよいと思う。	市民生活部	小学校等への通学については、バス、自転車、徒歩など様々な状況となっていることから、地域の実情に合わせた見守り活動等を行うよう、「地域の実情に合わせた、地域見守り活動や街頭指導を交通安全協会等の関係機関と連携して行い、交通事故の防止を図り、子どもの安全を確保します。」に修正いたします。 また、いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
13	個別政策 I -2-2 地域医療の確保と救急体制の充実	現在、産婦人科がなく子を産める環境がない。産婦は大崎市民病院や石巻赤十字病院に行って出産している。当市の中核病院としては極めて粗末な存在である。市立病院の経営は赤字で結構。産婦人科のみならず多くの診療科・医師を拡充願う。	医療局	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
14	個別政策 I -2-2 地域医療の確保と救急体制の充実 個別政策 III-1-1 子育て支援の充実 個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	登米市民病院のことで、「怖い病院」「行きたくない病院」「家に帰れない病院」等の声を耳にする。入院中、症状が悪化して設備がないため転院したり、別の人には市外の病院が満床で転院できなかつたという話を本人や家族に聞かされたこともある。優秀な人材確保と最適な設備投資をお願いする。 子育て支援においても、安心して子どもを産み育て健やかに成長できる環境づくりとして産婦人科が必要だと思う。 緊急時のドクターヘリのヘリポート、高速から病院までのアクセス道整備、病院の場所等のインフラも必要。 市民の厳しい声があるが、病院の方々は限られた人数、設備で頑張っている。市民、医療者のためにも市政の方で早急に取り組んでもほしい。人材不足等色々大変だと思うが、登米市民病院が安心できる最後の砦となるように切に願う。	医療局 市民生活部 消防本部 建設部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
15	個別政策 I -3-2 生活支援の充実	●生活保護率に目標値を定めることに違和感がある。受給資格があるにもかかわらず受給していない人の割合が日本では高いと言われている。行政による給付抑制の報道もある。生活保護率は経済状況の悪化や高齢者世帯や単身世帯の増加など、外的要因が強いと思われる。また、保護率を現状の8.05%から8.01%に低下させることを目標にしているが、実数だと数人程度であり、個人の転出入や死亡など支援とは関係のないことで生じ得る変化だと思う。 ●国保特定保健指導実施率は、「健康づくりの推進」という分野により適しているのではないか。 ●経済的に困難な状況にある人々を直接的に支援するような指標を設定することが望ましい。	市民生活部	●(1点目、3点目について)生活保護制度については、生活困窮支援における最後のセーフティネットと位置づけられています。その前段階のセーフティネットとして「生活困窮者自立支援制度」がございます(総合計画案p.41 主な施策 17①参照)。市としては、この「生活困窮者自立支援制度」をはじめとした制度・事業の活用により生活困窮状況の改善を図り、生活保護率の減を目標として設定したものとなりますので、ご理解をお願いいたします。 なお、生活保護の申請については、その意思があれば誰でも申請できます。このことについても、より一層広報・啓発を図ってまいりたいと考えております。 ●(2点目について)特定保健指導は、生活習慣病の予防・改善を目的とし、住民の健康維持・向上を通じて日常生活の質(QOL)を高める取組みです。対象者は40歳以上75歳未満の方であり、健康状態が良好であれば就労や地域活動への参加も促進され、結果として生活の安定や充実につながるため、このことを重視し、「生活支援の充実」の分野にしています。
16	個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	「中心市街地への都市機能の緩やかな誘導と公共施設の多機能化等によるにぎわい・活力のあるコンパクトな中心市街地の形成、地域拠点における生活利便施設の維持」の文章だが、市長の考え方とずれているように思うが整合性はとれるのか。	まちづくり推進部 総務部 建設部	都市機能と各地域拠点に関しては、中心市街地の活性化と併せ、それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりを推進するとともに、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方に基づく生活に必要な都市機能の維持と各地域拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの充実により、持続可能なまちづくりを推進するものであり、まちづくりの大きな方向性は整合性が取れているものです。 なお、整備に関し検討を行っている(仮称)地域交流センターについては、個別事業の一つであり、現在は市民の利便性の向上や既存施設の利活用、また、将来的な財政負担などを考慮し、施設のあり方を総合的に再検討しているものです。
17	個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	●都市機能を集約させる計画については非常に賛成。どこか一か所でも盛り上がりついたら、人は集まると思います。良くみえるようにとりつくらうことも必要では。	総務部 建設部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
18	個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	<p>新市長に対する「民意」について、登米市の今後を考えた時、新市長ならやってくれる、何かが変わるとの思いもあると思う。結果選出されたこと、他の候補の票を集めたらなどという仮定の話はちょっと違うと考える。公約もそうだが、人を選んだことが重要。一枚岩になって欲しい。</p> <p>現実、中江地区は雨による浸水があり本年5月には迫支所周辺の道路は浸水していた。ここに災害本部はおけないし、車両の出入りは難しいと考える。</p> <p>議員数の削減は今後さらに考えてほしい。</p>	総務部 議会事務局	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
19	個別政策 I -4-1 社会基盤の充実 個別政策 II -1-4 起業支援・企業誘致の推進 と雇用の創出 個別政策 II -1-3 観光物産の振興	<p>●私が登米市に転職したのは宮城県の他の市出身で、Uターン転職したかったためあり、登米市は公共交通機関の利便性が非常に悪いので、県内出身でなかつたらこの企業は選択肢に入らなかった。東京周辺で車を持たずに働いていたので、車社会前提の登米市を選択するのはネックになる。そもそも人口が多い地域から転職を考える人が多い(都会の人口が多いのだから当然そうなる)ので、同じように考える人も多いと推定する。</p> <p>●インバウンドなどの観光客も、新幹線+電車・バスなどで観光地にすぐアクセスできる場所に流れているため、公共交通機関についての施策25-①、②は商業的なメリットにもつながるはず。長沼など素晴らしい観光資源があるので、もっとアピール & 公共交通機関アクセスと改善すべきではないか。例えば福島の花見山公園など、花見の期間中は福島駅からバスがかなりの数出ている。長沼バスまつりなど期間イベント時はそういうものを参考にできないか。くりこま高原駅(新幹線から)が有効と考える。そもそもくりこま高原駅までのアクセスが悪すぎる。佐沼の中心から直接くりこま高原駅に行くようなルートを見直せないか。今後は転入者(商業・工業など)は佐沼地区に移住するプランと思われるため、新幹線の駅や東北本線の駅への回数を高めたほうが良いのではないか。公共交通機関はインフラだと思う。</p> <p>●東北本線の特急イブニングウェイが7月に始まったが、こうしたサービスが登米市に影響を与えるのか、調べておくべきではないか。</p>	まちづくり推進部 産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
20	個別政策 I -4-1 社会基盤の整備	<p>地域交流センター(仮称)はいらない。将来的に私たち市民の払う税金に及ぼす影響がはっきり説明されておらず、若い世代への負の遺産に思える。</p> <p>人口も減るなか、巨額の資金を投入して交流センターを建設したところで利用する人が市内にどれだけ居るか。</p> <p>商業施設や公園なら違う地域から来てまで利用する人も居ると思うが、現在の構想のような交流センターなら利用する人は少ないと思う。</p> <p>本庁機能を佐沼から移し、今現在あるものを庁舎として活用すべき。現在、各庁舎の会議室のような空き部屋が目立っているが、あれを使っては?</p> <p>今取り組むべきは、若い世代の働く場所を確保(企業誘致)して若い世代が収入の面で安定し、結婚や出産にも前向きなれる町作りと医療体制の整備、1人で買い物や病院へ行けない高齢者のためのサポートを考えるべき。</p>	総務部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
21	個別政策 I -4-1 社会基盤の整備	<p>本庁舎機能を佐沼から移し分散するという考え方があるが、一体市民がアチコチ走り回らねばならない不便さを為政者は考えたことがあるのか。</p> <p>大所高所から考えるべきだ。「蝸牛角上の政争」はダメ。浸水リスクを想定するならば、大水害には既存の分庁舎で安全な所はなし。</p> <p>むしろ心機一転、数百mしか離れていない「相ヶ沢」や「中沢地区」の丘陵地を削り“地山”に移築すれば、大地震にも強い。やはり、市の中心に統合庁舎はあるべきだ。</p>	総務部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
22	個別政策 I -4-1 社会基盤の整備	旧東佐沼郵便局の近くにバス停留所を作ってほしい。	まちづくり推進部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
23	個別政策 I -4-1 社会基盤の整備 個別政策 I -4-2 環境保全とゼロカーボンシティ・循環型社会形成の推進	<p>私がいつも気になっていることは除草の件である。土手にしろ他の所にしてもどうしてきれいに除草してくれないのか不思議で、作業をしている人に聞いたことがあった。国、市、町でそれぞれ担当があり、自分たちはここまでしかできないと言われたので驚いた。ほんの数センチメートル残してとてもかっこ悪いと思っている。先日も土手の除草を見ていると橋のまわりだけ残しているので、とても見た目も悪い。</p> <p>また、赤坂の坂をおりた登米から佐沼に向かう左側、人の背丈以上に伸びているのに、議員は見えないのかといつも思っている。</p> <p>詳しいことは私にはよくわからないが、自分の家だったら全部除草するのにいつも思っている。</p> <p>どうかいつもきれいな登米であるよう、よろしくお願ひする。</p>	建設部 市民生活部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
24	個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	<p>旧9町の地域分類がそのまま残っており、佐沼とそれ以外の地域で、地方格差が進んでいる。</p> <p>地理的な近さにより5つぐらいの区に分けて、そこで公的機関(役場・教育機関・医療機関)を集中させ、そこのバス網を整備する。第一産業は土地に依存するものであり、近接地をまとめて、その範囲内で日常的なあるいは市のイベントを実施できるようとする。</p> <p>現状、特定保健指導の実施が東和町または米山村で実施というイベント設定など、近接地でもなく、バス網もない、オンデマンドタクシーの領域外という、実質参加を求めていない、ただ企画したという実績作りのための企画とか地味に住人を追い出そうとしている。</p> <p>東和町と中田町の一部、登米と津山地区など、近接地で区をまとめ、その地域内で交通網の充実を図るべき。東和中、津山中を登米中に統合すると「自然環境保全エリア」でまとめようという考えらしいが、このような広範囲の地域の義務教育を一つにまとめるというのも住民を考えていない、他に住めというばかりの施策である。こちらも公共交通もなく、さらに災害発生時に地域の両端に住む子供たちが自宅に帰れるのか。特に公共交通機関が佐沼に集中するようにしか存在せず、合併前の旧町の公的機関を結ぶ路線を廃止するような施策を行って、とにかく住みづらくしているのが問題である。旧町の枠を外して公的機関を結ぶ路線を使用できるような行政区をつくるべき。一次産業従事者は土地から離れられないのだから、近距離内で一通りのことがまかなえる拠点が必要である。それを行政が土地から離れたところで強制する(義務教育や役場)というのは、住むなと言っているに等しいと思う。</p>	まちづくり推進部 教育部 建設部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
25	個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	<p>【バスの子供料金の設定】</p> <p>現在、小学生は無料としているが、小学生料金を100円とする。ただし、登米市内の小学校で毎年年間子供用パスポートを配布し、実質小学生無料というのを維持する。他市町村からくる小学生の料金を徴収する。(上記循環バスとの兼ね合い)</p>	まちづくり推進部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
26	個別政策 I -4-1 社会基盤の充実 個別政策 II -1-3 観光物産の振興	<p>【観光タクシー】</p> <p>観光地では半日とか一日1万円とか2万円とかで観光地を効率よく回る観光タクシーがある。登米市では近場にバスが無い施設が多く、本格的に観光ビジネスで税収をあげようとするなら市側で、観光案内基本テキストを作成して観光案内運転手の育成や観光タクシー事業への補助金などを出す。観光バスを作っても、古刹巡りをしたいお年寄りなどに需要がありそうに思う。インバウンドを考えるのであればバス路線の整備は必須、登米市は自家用車での移動しか考えられていない。自家用車で回る観光客などよほどマニアしかいない。外国人はもとより、市外からくる観光客がよほどドライブ好きでもなければ自家用車で回らない。交通環境の整備が必須である。</p>	まちづくり推進部 産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
27	個別政策Ⅱ-1-2 商工業の振興	商業の活性化には、“フリーマーケット”の様な初步的な市場でも、数多く開くべきだ。やれば結構何万人も集めることができる。「隗より始めよ」	産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
28	個別政策Ⅱ-1-3 観光物産の振興 個別政策Ⅱ-2-1 移住定住の推進と居住環境の確保	登米市のメディアへ発信	まちづくり推進部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
29	個別政策Ⅱ-1-3 観光物産の振興 個別政策Ⅰ-4-1 社会基盤の充実 個別政策Ⅲ-4-1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進	<p>●観光客入込数の統計があまり実態を表していないように思う。例えば、最大の割合を占めるのは「買い物」だが、道の駅や産直の入込数には地元住民も多く含まれていると思われる。さらに、令和4年度の観光統計を確認すると、フードフェスティバルなど、集客力のあるイベントが統計に含まれていない。グリーンツーリズムやフードツーリズム、体験型観光、ワーケーションなど、比較的新しい観光形態は、従来の統計ではカバーできていないため、これらの入込数も統計に含めるか、新たな指標を設定することを検討いただきたい。</p> <p>●登米市は、高品質で多様な食材、豊かな農村文化や歴史など、高いポテンシャルを有している。これらの資源を活かした事業化や効果的なPR活動をより一層推進していただきたい。</p> <p>●市内の主な移動手段は自家用車であるため、観光客にも利用しやすい公共交通(デマンド型交通を含む)の整備が求められる。同時に、市外からの訪問者にも分かりやすいようGoogle Mapで市バス等の情報を確認できるよう、GTFSデータの整備をお願いしたい。</p> <p>●「及甚と源氏ボタル交流館」のような宿泊できる公共施設などを市内外に発信し、オンラインでの申し込みを可能とすれば、自然体験や合宿での利用が見込まれると思う。市のHPやSNSだけでは不十分。</p>	産業経済部 まちづくり推進部	<p>●観光客入込数につきましては、国が定める「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、宮城県が毎年「宮城県観光統計概要」として取りまとめているもので、継続的に比較可能なデータとして、本市の観光施策の成果を測る上で必要な指標であると考えております。</p> <p>ご意見をいただきましたとおり、道の駅や産直施設等の利用者数に市内在住の方が含まれることや、イベント主催者の報告に基づき集計されるため、一部のイベントが含まれない場合があるなど、現在の集計方法では、必ずしも観光の実態を完全に反映できていない側面があることは認識しておりますが、計画期間中における施策の評価や比較可能性を確保する観点から、指標については、引き続き「観光客入込数」を活用し、その目標達成に取り組んでまいります。</p> <p>なお、グリーンツーリズムやフードツーリズム、ワーケーションといった「ニューツーリズム」の推進は、交流人口の拡大を図る上で重要であると捉えており、施策を推進する中で体験型観光の参加者数や新たな観光コンテンツの利用状況など、多様化する観光形態の実態をより的確に把握するための独自の指標についても注視し、今後の観光振興に活かしてまいりたいと考えております。</p> <p>●(2点目以降について)ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
30	個別政策Ⅱ-1-4 起業支援・企業誘致の推進と雇用の創出	工業団地を整備し企業誘致活動は実施されているが、装置産業(トヨテツ東北株式会社等)が多く、人集約型の企業がなく人口の増加にあまり寄与していない。 特に大崎市と涌谷町にあるアルプスアルパイン株式会社は、相当数の従業員を抱える企業では非誘致したい。車載関連の一部門だけでも結構である。	産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
31	個別政策Ⅱ-1-4 起業支援・企業誘致の推進と雇用の創出	三陸自動車道IC付近の有効活用(工場誘致、農業食品加工場誘致、唯一無二のスケボースポーツ施設 等)	産業経済部 教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
32	個別政策Ⅱ-1-4 起業支援・企業誘致の推進と雇用の創出	<p>●私は登米市内の製造業に正社員で転職し、2022年末に転入した。弊社は中途入社が少ない。人員不足で人材募集しているが、応募が来ないと上司から聞いた。(不正確かもしれないため、こういった製造業の正確な実態は会社の人事に聞き取り調査してほしい)</p> <p>●入社しても東京を本社とする派遣の人が多いため、登米市でない方に給与が流れり、すぐに辞めるリスクがある。また、経験の豊富なベテランも来ない。</p>	産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
33	個別政策Ⅱ-1-4 起業支援・企業誘致の推進と雇用の創出	市独自の取り組みに加えて、国や県の創業支援に関する情報提供を積極的に行い、副業やリタイア後の起業などを含めた地域における創業を促進してほしい。	産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
34	個別政策II-2-1 移住定住の推進と居住環境の確保	主な施策43-④において定年後、生家へ移住(都会→田舎)する世代の方々が増加する傾向ならば、若者と同様に能動的な施策を掲げてほしい。(各世代のニーズに応じたでは受動的、ニーズがなければ何もしないと言っているのと同じ)	まちづくり推進部	本市への移住を希望する方への支援として、住宅取得補助金や空き家改修補助金など住宅の購入や改修に対する補助金のほか、東京圏からの移住者に対する移住支援金の交付などの施策を実施しております。今後も移住希望者のニーズを把握しながら、移住に向けた支援を進めてまいります。
35	個別政策II-2-1 移住定住の推進と居住環境の確保 個別政策II-1-2 商工業の振興	転出について、高校生を想定の対象として転出対策を考えるべきと思う。まだ車を持たない学生として、自転車やらで遊びに行ける市街地が空洞化しているのはつらく、都会に行きたいと思うはず。 佐沼のイオンとか閉店が多くて、斜陽感がすさまじい。フードコートの空き場所とか支援でどうにかできないのか。 また、本屋はぜったいに存続させてほしい。地元である東松島市の本屋がつぶれてしまつたのだが、小～高校生や高齢者の方はどこで本を買えるというのだろうか。本屋は文化資本として絶対に支援すべきと考える。施策として図書カードの配布をした自治体もあるとか。図書館の統合計画もあるようだが、大きめ学生の学習スペースがあるような学生ファーストの場所にしてほしい。	まちづくり推進部 産業経済部 教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
36	個別政策II-2-1 移住定住の推進と居住環境の確保	「移住・定住の推進」に関連し、移住や二地域居住のもう一つ手前の「関係人口の増加」をめざす施策も有効だと思う。これは、都市部に居住しながら、継続的なボランティアや副業、観光等で登米市と関わりを持ち、地域に貢献してもらうような関係を想定している。そのような人の中から、移住を希望する人が出てくる可能性もある。	まちづくり推進部	本市では、移住体験ツアーの開催やシティプロモーション事業の推進により、関係人口の増加を目指す取組を実施しております。今後も、より多くの方に登米市に行ってみたい、住んでみたいと思っていただけるよう、本市が誇る自然・歴史・文化・食などの地域資源を生かした取組を進め、関係人口の増加から二地域居住や移住者の創出につなげてまいります。
37	個別政策II-3-1 生涯学習の推進	気軽にに行けるように、軽喫茶のある明るい図書館を新設いただきたい。参考にしていただきたいのは近くの一関である。市長、議員に見に行ってほしい。	教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
38	個別政策II-3-1 生涯学習の推進 個別政策II-3-2 スポーツ活動の推進	全国学力検査が平均を下回ってる宮城県だが、子供の出生率も下がっている昨今。大学を建てる事も無い、できないならば優秀な学力を身に着けられる塾を市が運営して交通費を掛けてまで仙台域に行かなくても学生が学べる登米市、逆に呼び込まれられる程の塾。 学力だけではなく農業離れが進み空いた土地での総合運動場も他地域からの呼び込みとして良いのでは。三陸道、北部道も整備される中、通り越して行かれる中間点ではなく、登米市インターに若者が集まる市作りが活性化の一歩かと思う。 塾講師、スポーツのコーチを納得できる待遇で招き、親子揃って登米市を誇れる様にしていただきたい。	教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
39	個別政策II-3-2 スポーツ活動の推進	市民プールの老朽化に対する新ハイテク市民プール建設(各学校の水泳授業廃止対策健康寿命促進)	教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
40	個別政策III-1-1 子育て支援の充実	若夫婦が安心して子育てできる登米市	市民生活部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
41	個別政策III-1-1 子育て支援の充実 個別政策I-4-1 社会基盤の充実	大型の屋内で子供が遊べる施設が欲しい。雨の日や夏の暑い日でも過ごせるような施設があると嬉しい。公園は市内に何ヶ所もあるが、屋内の遊び場が増えると子育て世帯も少し増えるのではないか。ちなみに登米町内にも公園を作つて頂けるとなお嬉しい。	市民生活部 産業経済部 建設部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
42	個別政策Ⅲ-1-1 子育て支援の充実 個別政策Ⅲ-1-2 学校教育の充実 個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	<p>●指標として「子育て情報アプリのユーザー数」が挙げられているが、あまり適切ではないように思う。民間のアプリやウェブサイトがあり、国によるデジタル化推進もある中、市独自の子育て情報アプリが10年後も最適とは限らない。また、市の出生数を年250人としても、12年で3,000人である。実際はもっと減少するだろう。多子世帯が多いことを考えると、現状値から1,811人のユーザー数増加を目指にするのは厳しいような気がする。</p> <p>●産婦健康診査受診率も放課後児童クラブ待機児童数も、元からあまり悪くない数値なので、もっと多くの子育て世帯が支援の充実を感じられるような指標にしていただきたい。</p> <p>●昨年度の調査によると、市内中学生の約2割、高校生の約4割は家族等の送迎により通学しているとのことで、都市部からの移住者にとっては、かなりショッキングな数字である。詳細の調査をした上で、スクールバスの導入や公共交通の充実、子どもの送迎サービス支援、電動アシスト付き自転車購入補助など、何らかの方法で対処していただけないか。子育て支援制度は未就学児や小学生を対象としたものが多いが、公共交通の乏しい登米市の実情に沿った支援が必要である。</p>	市民生活部 教育部 まちづくり推進部	<p>●本市の子育て情報アプリについては、民間のアプリを利用したもので、平成28年から予防接種スケジュール管理サイトとして運用を開始し、令和4年に現在の子育て情報アプリにリニューアルしており、子育て情報を掲載するほかメール配信やプッシュ通知により情報を発信しております。</p> <p>今後においては、マイナポータルと連携することにより健康診査記録や予防接種履歴の情報をアプリに取得できるなど、更なる機能の充実を図ることとしており、本市の子育て支援施策を周知する情報伝達手段としても有効であると捉えていることから、利用者の拡大を図るため代表的な指標にしたものとなります。</p> <p>また、目標値については、国立社会保障・人口問題研究所の年間出生数の推計値を基として、年間出生数の6割の保護者が新たに登録することを目指し目標値にしたものとなりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>●産婦健康診査については、産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、産後2週間、産後1か月の出産後間もない時期の産婦の母体の身体的機能の回復、授乳状況及び精神状態を把握する健康診査が重要とされております。このことから、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のうち、産後の初期段階における母子への支援として産婦健康診査の受診率を代表的な指標にしたものとなります。</p> <p>また、放課後児童クラブ待機児童数については、働き方の多様化や共働き家庭の増加に伴い、留守家庭の児童が増加しており、今後も、児童が安全・安心に過ごせる居場所の確保が必要であることなどから、放課後児童クラブ実施場所の整備等を進め、待機児童ゼロを目指すことを代表的な指標にしたものとなりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>●ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
43	個別政策Ⅲ-1-1 子育て支援の充実	子供を一人育てるのに莫大な資金がかかりすぎ、女性が生涯産む子供は一人が限界である。特に教育費には、あまりにも資金がかかりすぎる。せめて市として高校までは教育支援を行うべき。	市民生活部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
44	個別政策Ⅲ-2-1 市民協働・男女共同参画社会の推進 個別政策 II -1-4 起業支援・企業誘致の推進と雇用の創出 個別政策 II -2-1 移住定住の推進と居住環境の確保	<p>登米市の人囗構成を確認すると、10代後半から40代までの女性の数が男性に比べて顕著に少ない。市外への流出のためと考えられる。家庭や社会における女性の立場の問題なのか、あるいは労働環境のためなのか、原因を調査し対策を打つべき。この世代の女性が流出してしまえば、人口減少に歯止めがかかる。</p> <p>女性が望む就職先が地域に少ないのであれば、女性が働きやすい業種の企業誘致にも力を入れるべき。また、県や国の取組みと連携し、女性の就農や起業を支援するのも有効だと思う。</p> <p>若年女性の流出を抑制する施策は、最重要プロジェクトに追加するにふさわしいほどの重要事項である。</p>	まちづくり推進部 市民生活部 産業経済部	<p>女性の市外流出を抑制する施策は、人口減少対策における重要な施策の一つと捉えていることから、ご意見のとおり、最重要プロジェクトの「社会減少の抑制」へ、「56-① 男女が対等に責任を担いながらまちづくりに参画する社会の醸成」を追加いたします。</p>
45	個別政策Ⅲ-2-1 市民協働・男女共同参画社会の推進 個別政策 I -4-1 社会基盤の充実	<p>一般市民の人たちに意見を聞くことは、とても大切なことだし、素晴らしい市として、一步一步の確実な発展と結びつくものと思う。市民の意見を聞くことの中に、中学生や高校生などの意見を取り上げたり、話し合いの場を設けることもどうか。</p> <p>最近の市政、特に市議会議員による市役所プラス複合施設の建設の決議について、とても関心がある。この際、一般市民の考えを投票の形で聞いてみることが必要では。市の中心に市役所は必要で、この際改修工事(震災の防災含めての)をしていいと思うが、複合施設は、遠く離れた地区の方々に必要なものとは思えない。何しろ150億円の大きな負担は、この世代、次の世代、さらにその次の世代に、大きく負担となる。</p>	まちづくり推進部 総務部	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、本計画の策定に当たっては、市内の中学校及び高等学校に通う生徒並びに迫櫻高校に通う市内在住の生徒に対し、中高生アンケートを実施しております。</p>

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
46	個別政策Ⅲ-3-1 文化財の保護と文化・芸術活動の推進	商業都市だけでなく、観光都市にも注力すべき。まずは本丸御殿とその城郭を復元してほしい。かつて難攻不落であった佐沼城ここにありと誇らしげにしたい。資料館も一緒に本丸御殿に移転すべき。現在この資料館は利用する人がほとんどおらず、全く無意味な存在である。今後復元されたら入場料も取って運営すべき。	教育部 産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
47	個別政策Ⅲ-3-1 文化財の保護と文化・芸術活動の推進	音楽野外フェスの開催	教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
48	個別政策Ⅲ-3-2 国際交流・地域間交流の推進	「行政情報や生活情報を多言語で提供するなど」とあるが、昨今は機械翻訳の技術が進み、日本語での提供でもおおむね各国語で理解できるかと思う。なので、単に日本人向けの内容を多言語化するよりは、外国人の人々が特に必要としている行政情報や生活情報を丁寧に提供するといいと思う。	まちづくり推進部	行政情報や生活情報については、市ホームページで情報発信を行っており、英語・中国語・韓国語の3か国語に変換することが可能となっているほか、外国人登録関係の手続きをまとめたページを掲載しております。 今後、外国人の方々にとって必要な情報を把握し、より分かりやすく、丁寧な情報の提供を目指してまいります。
49	個別政策Ⅲ-4-1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進	指標として「電子申請サービス(申請件数)」が挙げられており、令和17年度の目標値が1,900件となっているが、もっと高い目標値を掲げ、戦略的に効果的な手続きを優先して導入していただきたい。 例えば、保育施設や児童クラブの利用申し込みなら、電子申請に対応できる人が多く、同じ書類を何度も作成する手間を減らして利便性を向上することにより、数百件～千件単位の申請件数が見込める。 他にも、公共施設の利用申請などをオンライン化すれば、利用者の利便性も高まり、電子申請件数のみならず施設の利用率も向上する可能性がある。LoGoフォームの権限を公民館等にも付与することはできないか。	まちづくり推進部	目標件数については、これまでの実績を踏まえた数値とさせていただき、ひとまずはこの目標に向けて取組を推進したいと考えております。 本市の電子申請は、令和7年8月末時点で46手続が可能となっておりますが、申請件数は伸び悩みの状況にあるものと認識しています。 仕事をお休みして窓口を訪れることが難しい方や、移動に困難を抱える方に役立つ取組と捉えておりますので、ご意見にもあります保育所関係手続など、効果的なものから順次オンライン化を進めてまいりたいと考えております。 なお、本市が使用する電子申請システム(LoGoフォーム)につきましては、利用契約上、本市以外の団体に権限を付与することはできませんので、ご理解をお願いいたします。
50	個別政策Ⅲ-4-1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進	「電子申請サービスの提供と対象手続きの拡充による「来なくともよい窓口」を実現し、(省略)」の「来なくともよい窓口」という言葉だが、市民目線からすると「行かなくともよい窓口」の方がいいかなと思う。「来なくともよい」と「来るな」と言われている気になる。	まちづくり推進部	ご意見にありました表現のとおり「行かなくともよい窓口」に修正いたします。
51	個別政策Ⅲ-4-2 効率的な行財政運営の推進 個別政策Ⅲ-2-1 市民協働・男女共同参画社会の推進	登米市は、市の財源を増加させるための方策に対し、市長も議会も真剣に議論していないように感じる。市民があれもやって欲しい、これもやって欲しいと言ったところで財源がなければ市民の要望を叶えることはできない。「どうすれば自主財源を増加すること」ができるか。市民のアイデアを出し合う話し合いを1年に6回開催されることを要望する。	まちづくり推進部 総務部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
52	個別政策Ⅲ-4-2 効率的な行財政運営の推進	財政面の記載が一切ないのはいかがなものか。金を使うことばかり記載されている。いろいろ夢のようなことを言っているが、その実現のもとになる原資はどこから調達するのか。どうやって税収を増やすのかの観点が全くないのがおかしい。財政的な目標をあげるべきである。	まちづくり推進部 総務部	財政面については、「Ⅲ-4-2 効率的な行財政運営」において、自主財源の確保について記述しています。また、財政的な目標として、財政調整基金年度末残高を代表的な指標に設定しております。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
53	最重要プロジェクト	<p>市総合計画(案)を確認した。とても素晴らしい内容であり、この計画が実現すれば明るい未来が期待できると感じた。特に序論や基本構想については大変わかりやすく、またP20に示されている「計画の体系」も理解しやすいものであった。一方で、人口減少対策の主な取組については、その施策によって本当に人口増加が見込めるのか、やや疑問に思った。</p> <p>今回の総合計画とは直接関係ないが、日頃から疑問に思っている点をお伝えする。例えば市の建設工事などを行う際、当市の業者ではなく他市の建設会社が入札で選ばれていると聞いた。市の予算を使う事業である以上、できる限り当市の業者を優先し、市内にお金が循環する仕組みを整えることが当然ではないかと考える。</p> <p>また、妊婦への妊娠期や健診時の助成制度があると伺っていますが、まずは妊婦になり得る若い女性が市内に増えるような取り組みを強化することが重要だと考える。</p>	まちづくり推進部 会計課	<p>全国的に人口が減少している中で、本市の人口が増加に転じるというのは現実的ではないことから、人口減少幅を緩やかにするとともに、人口減少にあっても暮らしあいまちづくりをするという視点で本計画を策定しておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>以降については、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
54	その他	<p>なぜ人口減少が進んでいるのか「登米市」ならでは分析が進んでおらず、対応策が通りいっぺんのものである。登米市全体の人口の減少と予測があるが、地区ごとに人口流出地域の現状分析(住民のヒアリングをなど含め)を進めて、それぞれに対する対応策を考えるべきである。</p> <p>そして、その施策により、どれだけ人口減少が抑えられ、流入を図れるかの具体的目標を作るべき。</p> <p>通りいっぺんな施策がいろいろ記載されているが、現在の登米市では佐沼以外は公的機関への交通アクセス方法がなく、各種サービスが利用できない状況にあり、佐沼以外の地区での施策は効果が無いと思われる。</p> <p>不公平感はむしろ、人口流出の元になると思う。</p>	まちづくり推進部	<p>人口減少は本市全体の課題と認識しており、主な原因として、少子高齢化により死者が出生者を上回る自然減少と、年齢階層別人口の推計で、特に15歳から24歳の年齢階層で、市外への進学や就職が理由と考えられる転出超過による社会減少が原因と捉えております。</p> <p>総合計画では、令和17年の将来人口の予測を61,000人としておりますが、国立社会保障・人口問題研究所による推計人口を基に、これまでの人口動態から自然減少の予測値を分析し、社会減少の長期的な見通しを踏まえ、子育て支援施策や移住・定住施策など各種施策の実施による政策的増加人口を見込み、将来人口の目標に設定しております。</p> <p>人口減少による影響を最小限に食い止めるため、基本政策に掲げた3つの柱が相互に関連しながら横断的に施策を展開することにより、人口減少の進行を緩やかにする対策に取り組んでまいります。</p> <p>交通アクセスに関しては、中心市街地の活性化と併せ、それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりを推進するとともに、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方に基づく、生活に必要な都市機能の維持と各地域拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの充実により、持続可能なまちづくりの推進に努めてまいります。</p>
55	その他	東北大農学部を当市に誘致すべき。大崎・登米は農業が盛んな地である。この地に大学がないのは逆に不思議なくらいである。大学の研究所として当市は最適の場所です。大学の誘致に伴い、それにまつわる関連企業や人口の移動が大いに期待できる。	まちづくり推進部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
56	その他	現在、学力・知識が劣っていても誰でも大学に入る時代である。大卒だと賃金が高いから人物本位(知恵や実力)で採用を検討して欲しい。現行の学歴フィーバーもある程度解消され、教育費の負担も軽減されるものと確信する。	まちづくり推進部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
57	その他	今後10年後の人口は、登米市と栗原市を合わせても11万人前後となるかと思われる。今後合併を視野に検討を開始すべき。市議会議員の定数も合併後には25名程度が望ましいかと思われる。	総務部 まちづくり推進部 議会事務局	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
58	その他	登米市と登米町の読み方が紛らわしいので、どちらかをひらがなへ変更	総務部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
59	その他	登米市議員数削減18人へ	議会事務局	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
60	その他	<p>【学生による地域活性化】</p> <p>日本の高校進学率が100%に近くなっている今、部活をやりたいということで高校留学をする子供も増えている。公立高校でも、ブラバンやダンス部などの強豪校では他県から入学を希望する生徒もいるそうである。一方、宮城県内で産業高校が廃校となる町もあり、特定技術の習得のための高校留学を推進することも考える。つまり、寮、食堂、交通網の整備である。現状のバスの運行では、登米市民でも寮に入りたいと考える地区住民もいると思う。市で寮を経営するのではなく、民間アパートを借り上げるような形でも良い。学校近辺で下宿業や飲食店ができれば町起こしにもなるう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生がスポーツ施設、文化施設を活用できるようにする。(学校からの施設へのバス網整備、施設利用料の優遇) ・佐沼高校のボート部、登米高校のカヌー部など、長沼を活用して強豪校となるのをサポートし、他市町村からのスポーツ留学を推進する。アーチェリーやバスケットボールなど、国体で国際基準に対応した施設に関して学生が部活で利用しやすくなる ・産業高校で登米市独自の授業をアピールしその授業を受けたいから産業高校に進学すると思わせる ・産業高校に林業科を誘致、旧米川小学校を分校として、そこから山に入って実地作業を行う →産業高校で箱罠やハンター資格取得の授業を選択制で取れるようにし、半年とかの教育期間でその授業は一般人も受けられるようにする。 <p>昨今の熊被害や害獣被害(ハクビシンなど)を対応するため、箱罠など農家の自助努力が必要になっている。公務員で対応できる人間も必要なので、実地の教育が受けられる機会があるのは貴重となるだろう。林業や害獣対策の授業を導入することで国の支援は得られないだろうか？</p>	まちづくり推進部 教育部 産業経済部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
61	その他	<p>【スポーツ文化振興と観光収入の増加】</p> <p>るーぶる仙台のような観光・スポーツ文化循環バスを運行する。風土マラソンや河北レガッタのような全国イベントがあってもピンポイントで参加して、せっかく登米市に来ても他を回ってみてもらえない。河北新報に聖地巡礼を目指したいような記事が出ていたが、運行する公共機関がなければ意味がない。登米市に他市町村から入る交通機関から登米市全体を回る。</p> <p>るーぶる仙台のように、一日乗車券と観光場所の割引券をセットにしたものを作成。一日乗車券と、博物館などの入場券を何枚つづりかセットにしてふるさと納税の対象にする。大人料金と子供料金の設定し、1回乗車大人200円、子供100円。</p> <p>宿泊施設情報の発信。登米市にはネット検索で泊まれるビジネスホテルとかがほとんどない。民宿や旅館など、各町や個人でホームページを作っているところもあるという状態で個人旅行客が泊まりで訪れるハードルが高い。「登米市」として観光協会は無いのか、公共の施設を含めて市が観光課として全体を通じて宿泊施設を発信できるようにする(第三者に委託でも良いが)。</p> <p>飲食店・コンビニ・公園等の情報の発信。仙台などでやっているようなバスの時刻表と地図が一体化したチラシを作成、病院、市役所、学校、観光施設に置く(チラシは広告を入れて広告料で作成)</p>	まちづくり推進部 産業経済部 教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

第三次登米市総合計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
62	その他	<p>現在、登米市は県内市町村別、財政力、人口減少率ランキングでいずれもワースト10内に入っています、身の丈に合わないハコ物を作る余裕はないだろう。事業費の高騰が続く今ならなおさらではないか。</p> <p>今後、登米市においても、老朽化しているインフラの改修等に多大な予算を必要とし、ましてや人口密度の低い登米市には大きな重荷になるはずだ。登米市の命運を分けるような大事業、夕張市、北見市のようにならないよう、冷静に審議していただきたい。また議会には新市長を選んだ民意をもっと重く受け止めるべきで、度量が足りないように思う。</p>	まちづくり推進部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。